

(非賣品)

高島嘉右衛門著

祭政一致

望欣臺藏



014061-000-7

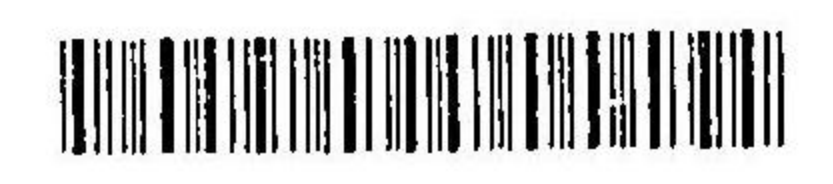
特16-874

祭政一致

高島 嘉右衛門／著

M24

ABB-0317



祭政一致

伏シテ惟ミルニ我國神州ト尊稱スル所以ノモノハ神人感通
シ祭政一致ノ建國體タルヲ以テナリサレバ國家ノ元首



天子ト申シテ上ニ奉ルハ神即チ天ノ御子ト云フ義ニシテ太陽
ノ下ニ照臨シ萬物ヲ發育スルニ則リ萬民ヲ撫育シ玉フノ
尊號ナリ又官吏ヲ君子ト名ツカルハ則チ君ノ子ト云フ義ニ
シテ天命ヲ奉ルハ君ノ意ヲ體スルヲ云フナリ然ラバ則
チ役人タルモハ上ハ大臣ヨリ下ハ屬官ニ至ル迄皆衆庶ノ
臣民ニシテ賢明英達ノ士ヲ撰拔セラレテ其光榮ヲ荷ヒ各位各
職ノ俸給ヲ得テ家計ヲ營ミ妻子ヲ養フノ身ナレバ毫モ私利

ヲ思ハズ私情ヲ懷カズ心ヲ洗ヒ身ヲ清メテ忠實ニ奉行セザルベカラズ然レドモ人間ノ智識ハ際涯ナキガ如クニシテ又境域アルモノナリ之レニ因ツテ國家ノ休戚萬民ノ禍福ニ關スル至重至大ノ要議ハ天子君子國是ヲ議シ玉フト雖モ其是非善惡ハ先ツ之レヲ神意ニ問ハザルベカラズ何トナレバ人ハ如何ニ賢明ナルモ既往ノ事ノミヲ以テ悉ク將來ヲ判知スルコト能ハザレバナリ茲ニ於テ神人感通ノ道ヲ以テ國家百年ノ大計ヲ定メズンバアルベカラズ然ルニ既往ヲ以ツテ將來ヲ料ラント欲スルモノアレバ設令和漢歐米ノ歴史ヲ諳讀シ社會學ヲ研究スルト雖モ是レ唯一片ノ臆測ノミ臆測ヲ以

テ萬變ニ當ラントセバ恰モ醫術ヲ知ラザルモノ、大病人ヲ藥室ニ連レ込ミタルカ如シ見渡ス所皆ナ是レ藥壘ナラザルナキモ何レヲ用ヒテ適スルカ當惑セザルヲ得ズ此レニ依ツテ古今有名ノ政治家ト雖モ其計畫スル政略ハ民情意外ノ變動ニ逢ヒ空シク畫餅トナリ畢ルモノ多キハ常ニ見聞スル所ナリサレバ彼ノ臆測ニ長シタルモノハ必竟奇才頓智ノ集合ニシテ所謂臨機應變押シ付ケ算段ノ政治ナリ斯ル國柄ハ歐米諸國ニ於テアルベシト雖モ苟モ天道ノ政ヲ行フ國體ニ於テハ決シテ此ノ如キコトアルベカラズ何トナレバ政事ノ源善行ノ本ハ諸レヲ鬼神ニ質シ之レヲ蓍龜ニ問ヒ而シテ後一決

施行セララル、ヲ以テ千慮ニ一失ナカルベキナリ、是レ神州ノ神州タル所以ナリ、抑モ我國ヲ神州ト尊稱スルモノハ寔ニ祭政一致ノ御主意ヲ奉體セラレ天道ノ政ヲ行ハセラル、ニ由ル之レニ據ツテ御歷代ノ天子上下ノ神祇ヲ御尊敬遊ハサル、ノミナラズ、辱ケナクモ古來朝廷ニハ賢所ニ於テ神人感應ノ道ヲ傳ヘサセラレ、陰陽局ヲ置カレテ神意如何ヲ問ハセ賜ヘリ、サレバ祭トハ天子神ニ事フマツルノ謂ナリ、政トハ天子下ヲ治メ玉フノ謂ナリ、祭ハ神人交際ノ義ニシテ際ノトヲ取リテ神ト人トヲ別ツテ尊卑ヲ示シ、政ハ正文ノ義ニシテ己レヲ正フシ而シテ

人ニ正シキヲ示スナリ、故ニ祭ヨリ出テタルヲ以テまつりをとトハ云フナリ、之レニ因ツテ之レヲ觀レバ神トハ則チ示シ申ゲルノ意ナリ、即チ人ハ至誠ニシテ神ニ對スレバ感應セザルナキヲ云フ、此レ之レヲ祭政一致ト名ク、サレバ神ハ心ノ原素ニシテ心ハ神ノ分子ナリ、之レヲ以テ神ハ見ルベカラズ聞クベカラズト雖モ、宇宙間至ル所トシテ有ラザルハナシ、故ニ其命ヲ受クルヤ響ノ如キナリ、然レバコソ孔子ノ大聖モ、思神格思不可度思ト思ノ叙字三個ヲ置レタリ、察セズンバアルベカラズ、然ルニ方今ノ學者ハ徒ヲニ學理ヲ以テ神ヲアバカント欲スルモノアリ、而シテ自ラ曲學阿世ニ陷ルヲ知ラズ、且己レ

ノ眼力及ハザル所ハ、釋迦モ山師ナリ、耶穌モ癡狂ナリ、孔子モ陳腐ナリト、揚言シテ愧チザルニ至ル、何ゾ思ハザルノ甚シキヤ、若シ夫レ此ノ如キ心事ヲ以テ、神ノ何物タルヲ窮メントスル、是レ木ニ縁ツテ魚ヲ求ムルニ似タリ、豈得ベケンヤ、何トナレバ神ハ理外ノ心髓ニアリ、故ニ古來ノ聖賢至誠感通ス、之レヲ人事ノ盡クル所トス、サレバ古代ヨリ今世ニ至ルマデ、未ダ曾テ斯道絶ヘタル事ナシ、故ニ國家ノ大事アルニ臨ミテハ、伊勢大廟ヲ始メ奉リ八百萬神ニ至ル迄、

天子自カラ賢所ニ於テ御祭祀アリ、各府縣ニハ知事ヲ御代拜トシテ、官國幣社ニ遣ハサセ賜フ、夫レ此ノ如キヲ以テ、外國派遣ノ臣民ヘモ賢所參拜仰付ケラル、モ素ヨリノ掟ナリ、又民間ニ於テモ産神ノ祭禮ニハ、家々休業シ山海ノ珍味ヲ供ヘテ祭祀スルニアラズヤ、是レ我國体ナルカ故ニ、上下舉ツテ神ノ尊敬スベキヲ知ル、是ノ故ニ我國ニハ日本魂ノアルアリテ、人民皆能ク忠義ヲ知ル而シテ、平時ニハ順良ノ民トナリ、戰時ニハ護國ノ干城タリ、之レヲ以テ寶祚無窮ニシテ天壤ト彊リナシ、是レ我國ノ萬邦ニ卓絶シタル所以ナリ、古來神人感應ノ道此ノ如クナルニモ關ラズ、今日我が朝廷ニ於テ陰陽局ノ設ケナキハ何ゾヤ、是レ他ナシ、維新事業ハ兵馬倥傯ノ間ニ建創セラレ、忽チニシテ歐米文物輸入シ來ツテ、現

理ノ理化、法、醫、器械等ヲ研究スル外、亦玄妙ノ神理ヲ闡明スルノ暇ナカリシガ故ナリ、故ニ賢達ノ君子モ知ラズ識ラズ其途ニ誘ハレ、遂ニ祭祀ヲ事トセザルニ至ル、茲ニ於テ嚴肅ニ奉行スベキ祭祀ハ、虚禮空敬ノ姿トナリ果テ、洋學者流ヲシコハ天子様ノ御祖先、心經病ヲ御煩ヒノ御方様アツテ、其ノ御遺言ヲ御守リ被遊候歟、又官吏カ賢所ノ御祭祀ニ、喫煙ヲ禁セラル、退屈料モ、内々俸給ノ内ニ籠リ居ル事ナラン、杯早合點スルモノモアルニ至ル、抑モ時弊ノ根本ヲ推究スレバ、世風澆季ニ流レ人心錯亂セントスル時ニ際シ、現理ニ汲々トシ、眞理ヲ怠リ至誠足ラズ、神人交通セザルヨリ起因スト雖モ、方今 天子

萬機ニ御親裁アリ、大臣各其責任アリ、又貴族院衆議院ヲ開設シテ、士民ノ輿論ヲ聞カセ玉ヒ、國是ヲ議定シ玉フ時ニアラズヤ、是レ所謂君從卿從士從庶民從ノ時ナリ、然リ而シテ神從ヒ筮從フヤ否ヤヲ知ル、陰陽局ノ設ナキハ、明治聖代ノ欠典ト云フヘシ、豈ニ國家ヲ思フノ輕キニアラズ、何ゾヤ、然ルニ廟堂ノ君子貳萬六千人、神國ト稱シ、君子ト稱シナガラ、天子ノ御尊號ハ何ヨリ出テタルヲ知ラザルカ、或ハ之ヲ思ハザルカ、何ゾ猛省セザルノ甚タシキ、是ノ故ニ今日ノ急務ハ、陰陽局ヲ設置シテ、祭政一致ヲ實行シ、神國 天子ノ尊號ハ、尊崇ノ名ノミニ非ズシテ、其實ヲ顯ハシ、現理博士ヲシテ、幽理ヲ眞玄アルコトノ知

ラシメザルベカラザルナリ、憶フニ昔時阿部晴明陰陽博士ノ
 職ニアツテ、頗ル其術ニ長シタリト聞ク、爾來書ヲ讀ムモノ、益
 多ク而シテ、意義益明晰ナラズ、從ツテ其體ヲ知ル者アリト雖モ、
 其用ヲ知ルモノ稀レニシテ、卒ニ天命ト鬼神トヲ説ク者ナシ、
 余不肖ナリト雖モ、聊カ陰陽ノ術ヲ自得ス、言ヘバ僭越ノ禮ヲ
 失スルノ懼レアリ、知ツテ言ハザレバ天譴ヲ免レ難シ、寧ロ之
 レヲ言ツテ、神國 天子ノ尊號ハ空シカラザルヲ實行シテ、歐
 米諸國モ日本ノ眞理ニ感服セシメ、普ク人間社會ノ大幸福ヲ
 與フルニ如カズト存シ、茲ニ陰陽局御設置ヲ希望ス、是余平素
 ノ持論ナリ、偶マ易占五篇成ル、書シ以テ卷端ニ置クト云爾、

明治廿四年四月一日印刷
 明治廿四年四月七日出版

定價金

著者兼
 發行者

神奈川縣士族

高島嘉右衛門

橫濱市尾上町五丁目
 八十一番地

印刷者

神奈川縣平民

馬場啓次郎

神奈川町青木千七百
 六十九番地

印刷所

製紙分社

橫濱市太田町六丁目
 九十四番地

